

■令和3年度 市長をかこむ会

川之石地区 R3.12.3 (金)

19:00~20:17

場所: みなせ

出席者	住民	30人	市 大城市長・二宮市民福祉部長 政策推進課 菊地補佐・兵頭係長
担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
建設課	佐々木ボデー横水路の暗渠化について	佐々木ボデー横の水路付近に乗用車が停まっていると、バスが通れない。水路を暗渠にすれば、バスがスムーズに通れるようになるので対応してほしい。	担当課に対応が可能かどうか確認する。 【補足】 水路部改修について、隣接地である佐々木ボデーに意向確認すると、工場への進入及び居宅の生垣等の問題はあるものの、協力的な回答を得られた。 現道幅員は5.4mで水路部は1.0mであるため、水路を暗渠化すれば、車両通行に一定の効果はある。今後、詳細設計業務を行い、検討したい。
建設課	市道の改良について	八幡浜自動車教習所から保内中学校までの喜木川沿いの道路について、水が溜まるので建設課に舗装をしてもらったが、排水がされないので対応してほしい。	雨の日に担当課と現場を確認して対応する。 【補足】 喜木川の護岸嵩上げにより路面排水の排除が困難となり、県が排水孔を設置した。排水孔周辺に落ち葉が堆積し流水を阻害していたため、清掃を実施する。また降雨時に現地調査し、対策について検討したい。
建設課	琴平地区の避難道路について	琴平地区の空き家を取り壊した後、昨年10月に建設課に現場に来てもらい、危険だということで避難道路に手すりを設置してもらおうこととなったが、まだ対応してもらっていない。	担当課に確認して対応する。 【補足】 業者に転落防止柵の設置依頼を行い、近日中に施工する予定である。
総務課	琴平地区の防火水槽について	琴平地区の防火水槽について、車が通るたびに上に敷いている鉄板がバタンバタン動いて危険である。一度現場を確認して、まだ問題ないということだったが、再度確認して対応してほしい。	現場を確認して、危険であれば早急に対応する。 【補足】 12月6日(月)に現場を確認した。ご指摘の箇所については、今年度中に修繕を行う予定である。
建設課	マンホールの段差について	保内中学校から和田町にかかる橋のマンホールについて、周りより低くなっており危険なため対応してほしい。	歩行しやすいように、マンホールのすり合わせについて検討したい。 【補足】 水道管の仕切弁が低く、通行時にバウンドしているため、水道課が嵩上げ補修を実施する。
総務課	防災訓練について	訓練の内容が毎年同じである。毎年、重点的に取り組むテーマを決めて実施してはどうか。また、毎年重点的に訓練を行う地区を決めて、順番に行えば訓練の意味があると思うがどうか。	防災訓練は危機的な状況の際に、市民がどのような行動ができるかを念頭に示している。訓練でできないことは本番では絶対にできないと考えている。毎年同じような内容かもしれないが、繰り返して行うことが重要である。訓練を行う際、重点的なテーマを決めて取り組むことについては意味があるので、担当課と協議して進めていきたい。 【補足】 訓練の重点テーマについては、自主防災会連絡協議会の中で、各地域の情報を共有しながら、協議、検討したい。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
総務課	防犯灯設置補助事業について	防犯灯をLEDに切り替える際、1灯2万円 の市の補助がある。市の年間予算は 150万円だが8月頃にはなくなり、9月補 正で50万円増額した。また、年間の申請 上限が地区で3灯までとなっている。あ まりに予算が少ないので、来年度は倍 額の300万円程度にし、申請の上限も6 灯までなどに緩和してほしい。	要望も加味しながら、予算を組んでいきたい。 【補足】 今年度については、地区ごとの上限は2灯までとし ており、下半期の申請状況を見ながら、3灯目の受 付については残予算があれば年度末に抽選で行う ことを10月の公民館主事会で説明している。
総務課	伊方原子力発電所事故の際の避難方法などについて	伊方原子力発電所で事故が起きた際、 どのような被害があり、どう避難したら いかを周知してほしい。	万が一事故が起きても、正しく恐れて、行動すれば 命を守ることはできる。国や県と連携しながら、避 難行動計画に則って指示をするので、指示に従っ て行動してほしい。 原発事故の際の避難方法などについて、危機管理 室による住民説明会や八西CATVで放送することを 検討したい。 【補足】 本市は、市内全域がUPZ(発電所から5 kmを越え 30 kmまでの範囲)に含まれており、万が一、伊方 発電所で重大事故が発生した場合は、屋内退避を 基本として、空間放射線量率のモニタリング結果に 基づき、松山市への広域避難を段階的に実施する ことになる。これらの詳細については、「八幡浜市 住民避難計画」に定めているが、今後、同計画の 効果的な周知方法を検討していく。
建設課	川之石地区の無電柱化について	無電柱化プロジェクトは、旧八幡浜地区 のみとなっている。川之石地区は古い 町並みが残っているのので、優先的に無 電柱化をするべきではないか。	無電柱化の路線認定を受けるには時間がかかる が、要望があれば聞いて検討していきたい。
総務課	愛宕山プロジェクトについて	愛宕山に仮設住宅を建設した際、旧八 幡浜住民しか利用できないのか。保内 町民は利用できるのか。	八幡浜市民なら誰でも利用できる。
政策推進課	保内地区のプロジェクトについて	旧八幡浜地区でのプロジェクトの実施予 定はあるが、旧保内地区でのプロジェ クトの予定はないのか。	実施予定のプロジェクトは、市民からの要望を受け てすべて事業化したものである。現在、旧保内地区 でのプロジェクトの実施予定はないが、要望を受け て、良いものについては住民と一体となってプロ ジェクト化していきたい。
総務課	本町地区の一時避難場所について	本町地区の一時避難場所について、雨 や風をしのげるようになっていないが把 握しているのか。	把握していない。 【補足】 地域防災計画(資料編)に津波一時避難場所の一 覧表を掲載しているが、市内112箇所のほとんどが 広場や農道などの屋外になっている。津波一時避 難場所は、津波から一時的、緊急的に避難するた めの場所であり、地元との協議により、屋内・屋外 を問わず、沿岸部を中心に海拔10m以上で、人が ある程度集まれる場所を指定しており、津波が収 まった後は、被災により家に戻れなくなった住民等 を滞在させるための施設(指定避難所)に移動して もらうこととなる。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
総務課	伊方原子力発電所事故の際の避難方法などについて	伊方原子力発電所で事故が起きた際の避難方法、被ばくした際の安定ヨウ素剤の配布方法などについて周知してほしい。	各自が自動車で避難すると道路も渋滞するため、バスで計画的に避難するようになっている。訓練の際は、積極的に参加してほしい。 八幡浜市は伊方原子力発電所から5km以上離れているため、安定ヨウ素剤が必要になった際は、一時避難場所に配布するようになっている。しかし、それでは対応が遅いため、事前配布するべきだと県に要望している。皆さんも事前配布するべきだという声をあげてほしい。
保健センター	新型コロナワクチン接種について	3回目接種の予約方法は、1・2回目と同じなのか。また、現在接種対象ではない12歳未満の今後の予定はどうなっているか。	まだ、一般の方のワクチンが届いていないため、具体的な予約方法は決まっていないが、1・2回目と同じような予約方法が良いと考えている。12歳未満の方の接種については、国の指示に従ったの対応となる。 【補足】 追加接種では、2回目接種から8か月を経過した方から順に接種券を送付し、医療従事者も含め1・2回目と同様に電話かWebで医療機関や集団接種会場を予約する方法により実施する。ただし、国の方針により接種間隔が短縮される可能性がある。